## 事業者向け・放課後等デイサービス自己評価表 2024

## エールかみさと(指導員アンケート総数5名)

		チェック項目	はい	どちらともい えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	0	・1 階は2部屋あり、学習と遊ぶ部屋を分けている。 ・リトミックは2階を使用している。 ・活動内容によって部屋は分かれるが、内容によっては距離が取りにくいこともある。 ・用途や児童個人の特性によって部屋を使い分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	0	5	0	・シフトは利用児童に対して最低限の職員数を配置していることが多いため、当日の急な休みなどは安心して取ることができない。 ・適切であると思うが、手があったら良いという場面はある。 ・個々の児童への細やかな支援ができる様、心がけているが、利用人数が多い時は忙しくなってしまう。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が 適切になされているか	1	4	0	<ul><li>・階段は急である。</li><li>・玄関にスロープはなく、車椅子のまま玄関に入ることはできない。</li><li>・玄関に段差がある。</li></ul>
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標 設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか	5	0	0	<ul><li>・日誌や記録から問題点を話し合い、支援の改善に</li><li>生かしている。</li><li>・ミーティング時に意見を出し合っている。</li></ul>
業	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、 業務改善につなげているか	5	0	0	・意見があれば職員間で共有し、改善に向けて話し 合っている。 ・必要に応じて説明し、改善する努力をしている。
務改善善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームペ ージ等で公開しているか	4	1	0	・毎年、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	1	1	3	<ul><li>・外部評価を行っていない。</li><li>・現在は行っていないが検討したい。</li></ul>
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確 保しているか	0	5	0	・今後参加したい。 ・研修に全員が参加できるように改善したい。 ・YouTube や PECS の勉強会に参加した。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズ や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサ ービス計画を作成しているか	5	0	0	・保護者面談の他に送迎時のコミュニケーションも参考にしている。

支援	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化さ れたアセスメントツールを使用しているか	3	2	0	
の 提	11)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	・職員間で立案し、職員全員で取り組んでいる。
供	(12)	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2	0	・固定化されているものもあるが、行事等の活動では 新しいものに取り組んだ。 ・児童の成長や希望に応じて、固定化しないようにし ている。
	(13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	0	・休日しかできない事も取り入れるなどしている。
	14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適 宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成 しているか	5	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いるか	5	0	0	前日の児童の様子を毎日共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか	5	0	0	・記録に残し、職員間で共有している。 ・当日のうちに日誌に入力し、時間のゆるす限り話し 合っている。それを翌日の職員で共有している。
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	・毎日記録に残し、申し送りを行っている。 ・月 1 のミーティング時に検討・改善を話し合っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービ ス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	2	3	0	
関係機	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか	5	0	0	
関や保護	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0	・学校にお迎え時は、担任等と引継ぎを行っている。 ・必ず学校関係者に声をかけてから児童を連れて帰る。 ・面談が出来る時は、教諭も交えて共有している。
者 と の	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	3	2	・該当者がいないため ・現在は受け入れ態勢になっていない。
連携関	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有 と相互理解に努めているか	0	5	0	・来年度は実施したい。

係機関や保護者	24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	0	・希望があれば情報共有をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	0	・YouTube による研修を受講した。
と の	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	3	・一緒に活動することはなかったが、児童センター利用 時に同じ空間で活動することはあった。
携	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加し ているか	1	2	2	・放デイ連絡会へ参加した。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持ってい るか	5	0	0	・毎日の送迎時や面談で伝え合っている。 ・HUG でもケア記録で伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行って いるか	0	1	4	・関連書籍の貸し出しを行っている。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	4	1	0	・管理者等に任せている現状がある。 ・契約時に行っている。
者への説	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	・送迎時に相談があった場合は、時間のゆるす限りで助言を行っている。 ・電話でも対応している。
明責任等	32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	3	・みかん狩りでは家族にも参加して頂いている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	1	・苦情なし ・保護者からの苦情はないが、あった時は対応をする。
	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して 発信しているか	5	0	0	イベントや日々の活動など写真入りで公開している。
	35)	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	・個人名の書かれているものはシュレッダー処理をしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしているか	5	0	0	・音声ボードや筆談を利用している。

	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開 かれた事業運営を図っているか	0	0	5	<ul><li>・常に見学を受け入れている。</li><li>・地域の方を招待する事はできていない。</li></ul>
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい るか	3	2	0	・保護者に周知されているかは不明である。
非	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	・年に1度消防立ち合いの総合防災訓練を実施している。 ・定期的な避難訓練や水消火器訓練も行っている。 ・2階からの避難訓練も行った。
常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	5	0	0	・毎月、ミーティングで実施している。
等の対応	41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、 放課後等デイサービス計画に記載している か	5	0	0	・計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされているか	0	3	2	・該当者なしのため ・対象児童はいないが、該当する場合は指示通りに 対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有しているか	5	00		・毎日記録を残し、ミーティングで共有している。 ・月 1 のミーティングでまとめ、再発防止に努めている。